

九電グループの強み

九電グループでは、創業以来培ってきた諸資本を投入し、「安定供給技術」「高いゼロエミ電源比率」「強固な地域基盤」「人材力」の4つの強みを軸として将来の成長につなげ、「ずっと先まで、明るくしたい。」という九電グループの思いの実現を目指します。



安定供給技術

大きく変動するエネルギー情勢やその時々 της 社会的課題に対し、中長期の観点から最適なエネルギーミックスを考え、その実現に向けた挑戦を継続しています。

経営環境が大きく変わる中でも、安定供給に対する変わらぬ使命のもと、新たな技術開発等に取り組むことで、将来にわたってお客さまの生活や経済活動を支え続けていきます。

発電設備

総出力 **1,714** 万kW
発電所数 **223** か所

停電回数

(お客さま一軒あたり)
0.08 回 (台風等災害除き:0.05回/軒)

原子力設備利用率

2023年度実績
90.8 %

主要な資本

製造資本

- ・ S+3Eに寄与する電源ミックス
- ・ 発電・送配電設備
- ・ 情報通信設備

知的資本

- ・ 電源の開発・安全安定運転に関する実績・ノウハウ
- ・ 送配電設備運用のノウハウ



高いゼロエミ電源比率

長年にわたり再エネの開発導入に積極的に取り組んできたことに加え、東日本大震災以降停止していた原子力を他社に先駆けて稼働したこと等により、業界トップクラスのゼロエミ電源比率を実現しています。

今後も、原子力の最大限の活用に加え、再エネの主力電源化を推進し、引き続き国内の低・脱炭素のトップランナーとして走り続けます。

発電電力量に占めるゼロエミ・FIT電源比率

2023年度実績

約 **60** %

※：九州電力の発電電力量に占める比率を示したものであり、非化石証書取引前の数値。上記のうち、非化石証書を使用していない部分は、再生可能エネルギーとしての価値やCO₂ゼロエミッション電源としての価値は有さず、火力発電などを含めた全国平均の電気のCO₂排出量を持った電気として扱われる

主要な資本

製造資本

- ・ 発電設備(再エネ・原子力)

知的資本

- ・ ゼロエミ電源(再エネ・原子力)の開発・運用に関するノウハウ

自然資本

- ・ 地熱、水力等の自然豊かな気候風土



強固な地域基盤

九州を基盤とした事業活動を通じ、九州とともに発展する中で、お客さま・取引先をはじめ、自治体や地場企業・地域団体等の皆さまとの強固なネットワークを構築しています。

そこで培った信頼関係をもとに、地域・社会の抱える課題の解決に地域の皆さまと一緒に取り組み、ともに発展する、持続可能なコミュニティの共創を目指しています。

包括連携協定締結数

53 自治体(九州電力)

登録取引先数 (資料調達)

約 **3,040** 社 (2024年7月末時点、九州電力及び九州電力送配電)

お客さま口数

788 万口

九電グループへの信頼度

75.9 %

主要な資本

製造資本

- ・ 発電、送配電設備
- ・ 情報通信設備

社会・関係資本

- ・ 地域社会との信頼関係・ネットワーク
- ・ 取引先、関係会社等との協力



人材力

従業員一人ひとりが、取り巻く変化を成長のチャンスと前向きに捉え、好機を逃さず迅速に行動することに取り組んでいます。

また、地域社会やお客さまの期待に応えていくために常に学ぶ気持ちを忘れず、仕事での実践を通じて自身の知識や技術を磨き続けています。

強い使命感、多様な知・技術・経験を有する人材

従業員数(連結)

21,092 名

重要資格*取得者数 (九州電力及び九州電力送配電)

1,119 名

※：電気事業の運営に必要不可欠かつ難関な公的資格(電気主任技術者(第1種)、原子炉主任技術者等)

従業員総合満足度

80.4 %

※：2022年度実績

DX専門人材教育受講者 (九州電力及び九州電力送配電)

221 名

主要な資本

人的資本

- ・ 九電DNA(九州のインフラを支える強い使命感)
- ・ エネルギーサービスに関わる技術者等、多様な知・技術・経験を有する人材